

新聞を職員育成に活用

～ 日々の「新聞」から培う、パブリシティマインド ～

令和8年（2026年）4月10日、八王子市新規採用職員研修において、初宿市長自ら、パブリシティとしての「新聞」を活用した政策立案研修を行いました。

【研修内容】

- ・新規採用職員134名が朝刊を精読し、本市の政策立案に資する記事を選定、切り抜いてスクラップ（朝日・産経・東京・日本経済・毎日・読売 ※50音順）
- ・「なぜその記事を選んだか」という選定の視点及び政策案を発表
- ・初宿市長からの講評
「私が選んだ今日の新聞記事」とその解説
新聞が培うパブリシティマインド

初宿市長からのメッセージ

- ・不確実性の高い時代、短い時間で公平・公正な情報を入手するために、新聞が有効。
- ・市民に発信し、伝わり、行動変容を促していくには、広報の最初の一言が重要。行政職員としての一歩が始まるが、日々の新聞精読を通じて、感受性や言葉のセンスといった「伝える力」を磨いてほしい。

